

平成30年第3回議会定例会 諸般の報告

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに「元市長に対する損害賠償請求事件の裁判結果」について申し上げます。

本年、8月23日午後1時10分、千葉地方裁判所におきまして、平成27年3月23日付けで提訴した横山元市長を被告とする損害賠償請求事件の判決の言い渡しがありました。関係する多くの方々に御心配をいただきましたが、結果といたしましては、本市の主張が認められました。今後につきましては、判決に従って対応してまいります。

次に「小・中学校のエアコン設置」について申し上げます。

本市における小・中学校へのエアコンの整備については、本年1月、平成30年度予算編成にあたり、総合計画策定時の財政推計と実際の財政状況に大きな乖離が見られ、平成31年度にエアコンを整備した場合、将来の厳しい財政負担が懸念されたことから、一旦立ち止まり、再度財政を精査し、財源の見通しを立て後期基本計画にエアコン整備を位置づけ、進めていくとしたところです。このため、1月以降、行財政担当において、財政推計の見直しに着手し、4月からは庁内各課とも本格的に推計作業を進め、緻密な作業を繰り返しながら、8月1日に新たな財政推計をまとめました。結果については、身を切る改革を行っても、なお財源が不足するものの、受益者負担の適正化も併せて検討しながら一層の財政健全化の取組みを進めることで、将来の行財政運営に見通しがつけられるものと判断したところです。しかしながら、今年の夏は、記録的な暑さとなり、市内の小・中学校では暑さにより体調不良を訴える児童・生徒が多数出ました。また、7月17日には愛知県豊田市において小学校1年生の男子児童が熱中症で亡くなるという痛ましい事故が発生いたしました。このような中、市議会、市PTA連絡協議会、市教育委員会をはじめ、児童・生徒、保護者、市民からも一日も早く教室にエアコンを設置して欲しいとの要望書や願いが多く寄せられております。これらを鑑み、小中学校へのエアコン整備は、児童・生徒の命と安全を守る緊急かつ、最優先課題と位置づけ、まずは市内の全小・中学校の普通教室に、来年の夏に間に合うようエアコンを整備することとしました。今後、市民の皆様の理解と協力が得られるよう、新たな財政推計と財政健全化の取組み、市内小中学校へのエアコンの早期整備に係る説明会を、9月中に市内6か所で順次実施する予定です。詳しい日程は市ホームページ及び広報しろい9月

15日号でお知らせいたします。子どもたちの健康や教育環境の改善のために、一日も早くエアコンを設置できるよう進めていきたいと考えておりますので、議員及び市民の皆様方にはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

次に「旅券事務の開始」について申し上げます。

県から旅券事務の権限移譲を受け、平成30年10月1日から、市民課の窓口において、旅券の申請及び交付の取り次ぎ業務を開始します。旅券にかかる受付時間につきましては、土曜日、日曜日、祝日、振替休日、年末年始を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時30分までとなっており、取り扱い業務は、新規、切替、増補、記載事項変更の申請業務と、紛失などをした場合の届出を取扱います。なお、当市で申請できるのは、日本国籍を有し、1点目に、白井市に住民登録をしている方。2点目に、千葉県内の他の市町村に住民登録をしている方。3点目に、千葉県以外に住民登録をしている方で、学生や単身赴任等で継続的に白井市内に居住している方となります。交付にかかる日数につきましては、土曜日、日曜日などを除き、新規、切替、記載事項変更の場合は、申請日から9日間、増補の場合は、申請日から7日間となります。この旅券事務の開始により、これからは市内で旅券手続きができることにより市民の利便性の向上が図られるものと考えております。

次に「平成31年度予算編成方針」について申し上げます。

このことについて、平成30年8月29日に決めましたので、概要についてお伝えします。平成31年度は第5次総合計画前期基本計画のゴールに向けて成果を明らかにしていくとともに、後期基本計画に着手する年であることから、計画事業の進捗状況をしっかりと見極め、効率的に展開していくために、施策評価や事務事業評価等の結果を考慮した予算、1年間の事業量を見込んだ予算とすることとします。なお、要求に対しては、市の課題解決につながるかを判断基準として予算を配分します。また、財政調整基金からの繰入金で6億円とし、予算総額としては、平成30年度当初予算比マイナス7.5%、197億円を上限とします。基本方針においては特に留意すべき点を2つ挙げております。1点目は、「第5次総合計画を基幹とし、市の発展に向けた事業の推進」です。平成31年度は前期基本計画のゴールに向けて、これまでの成果と社会情勢等を踏まえ、プロジェクトにおける各々の役割と責務を再確認し、計画事業の着実な推進を図るための予算とします。また、総合計画外の経常事業においても、計画事業に寄与することから、事業の目的やその達成のための効率的な運営を考慮することとします。2点目は、

「持続可能な行政運営に向けた行政経営改革と公共施設の管理」です。市は、平成30年度から行政経営改革実施計画の取組みを開始し、行政経営改革の着実な推進を図っています。特に、平成32年度末の地方債残高200億円以下という行政経営指針に定めた目標値を踏まえ、平成31年度予算においては起債事業を厳選し、後年度負担の増大を抑制することとし、また、8月に策定した「財政推計の見直しと財政健全化の取組み」においては、市民と行政、双方に係る財政健全化の取組み項目を予定として掲げているところですが、行政に係る取組みについては、その効果を確実に予算に反映させていくこととします。また、公共施設の管理については、施設の方向性を決定するまでの間の市民の安全等に関わる修繕対応等の経費及び今年度実施している施設の劣化度調査を反映し、今後の個別施設計画の策定にあたっての必要経費として、財政推計で見込んだ4億円を上限とすることとします。なお、公共施設等の整備については、修繕計画及び個別施設計画との整合性を図る必要があることから、実施計画事業を除き、公共施設等の新設及び大規模改修等の予算要求は、原則として凍結します。今後とも持続可能な行財政運営を進めていくため、以上申し上げました予算編成方針に則して、予算編成作業を進めてまいります。

次に「新たな学校給食共同調理場の愛称」について申し上げます。

平成31年4月のオープンを目指して整備を進めている新たな学校給食共同調理場が、多くの市民の皆様にも、より親しまれる施設となるよう5月14日から5月31日までの期間、市内の小・中学校に在籍する児童・生徒約6,200人を対象に、愛称を募集しました。その結果、278人、591件と、たくさんの応募があり、選考の結果、愛称を「なし坊キッチン」に決定いたしました。「なし坊キッチン」という愛称は、親しみやすく、覚えやすいもので、市の名産の梨をモチーフにした「なし坊」と、調理場が連想できる「キッチン」を掛け合わせていることから、白井市の特徴や学校給食が上手く伝わる素晴らしい愛称になったものと考えております。今後は、本愛称を新たな施設に掲示するとともに、共同調理場から発する文書等に記載するなどして活用していきたいと考えております。また、給食で使用する食器にも「なし坊」や「なし坊ファミリー」のイラストをプリントし、給食をとおして市に対する愛着を深めてもらいながら、楽しい給食となるよう取り組んでまいります。

次に、「白井梨トレ体操第2」について申し上げます。

市では、介護予防を目的に高齢者を対象とした市のオリジナル体操「梨トレ体操」に続く、オリジナル体操第2弾となる「白井梨トレ体操第2」をこ

のたび作成しました。この体操は、小学校低学年からできる内容で、おおむね壮年期までを対象とした体操で、子どもの頃から「体を動かすことが楽しいと思う経験」を通し、大人になっても健康的な生活習慣を実践するきっかけづくりを目的に作成しております。作成にあたっては、市内小・中学校の体育主任の先生や市内梨農家からアイデアをいただき、試作した体操を市内の小学生に体験してもらい、その結果を踏まえ、市と協定を結ぶ順天堂大学の全面協力により、曲のテンポや体の動きなどのアレンジを加えて完成しました。この体操は、現代の子どもの身体能力の低下、例えば、スキップやリズムをとって体を動かすことが苦手な子どもが増えているなどという課題への対策を取り入れた先進的な体操となっています。さらに、歌詞と振り付けそれぞれ、白井市の特産である梨が育ち、食べられるまでのストーリーをイメージしており、子どもの頃から白井という地域への愛着を育むきっかけになるものとなっています。また、この体操に愛称をつけるため、市内小学生により寄せられた愛称から最終候補を6つに絞り、みなさんからの投票により決定することとしております。投票は本日から25日まで市役所や各センター、市ホームページなどで実施します。今後は、市内各地域や小学校などに出向いて体操を広め、市民の健康づくりを推進してまいります。

最後に、白井市出身で「しろいふるさと大使」の安藤 美希子選手のアジア競技大会 銅メダル獲得について申し上げます。

8月23日にインドネシアのジャカルタで行われた第18回アジア競技大会のウェイトリフティング女子58キロ級において、安藤美希子選手が、銅メダルを獲得しました。このメダル獲得は、アジア大会におけるウェイトリフティング日本女子では、24年ぶりとなる快挙であり、安藤選手のたゆまぬ努力と日ごろの練習の賜物であると、心から敬意を表します。今後、11月に予定されている中央アジアのトルクメニスタンで開催される世界選手権での活躍を期待するとともに、2020年の東京オリンピックでは、さらなる高みを目指し、飛躍されることを心より願っております。市としても、「しろいふるさと大使」である安藤選手を今後も応援してまいります。

以上で諸般の報告を終わります。